



福祉施設対策委員会 ニュース

No2011-04
2012年
1月23日

各単組 の取組

松本乳児院新築早期実現の為に がんばってます！

松本赤十字乳児院 全日赤福祉施設対策委員

松本赤十字乳児院は老朽化が進んでいるため、新築検討委員会を設置し新築に向けて頑張っていますが、自己資金の不足からなかなか実現には至っていません。

早期実現の為に、本社、支部、以外にも近隣の市町村への働きかけが重要と思い、毎年1月に行われている地区労連他労働組合と松本市との懇談会に乳児院の提案を出していただきましたが、結果は以下の通りでした。

松本市長の視察は叶わず・・・

地区労連と松本市との懇談会が1月16日に開かれ、松本赤十字乳児院の現状を知ってもらうために、是非、松本市長に視察に来てもらい、職員とも懇談の場をもってほしいという提案を地区労連の代表の方を通じて行いましたが、市からの返答は、乳児院は日赤の持ち物で‘市’としては手を出せないの、何か重大事があれば子ども課を通して国や県に上申すべきであり、したがって市長の視察は出来ないというものでした。

又、日頃から子ども課の職員が定期的に乳児院の職員とも懇談をしているし、施設長や看護師長とも良い関係を築けているはずなのに、どうして労働組合からこうした意見が出てくるのかと、市は違和感を抱いたようだ地区労連の代表の方から報告を受けました。

私達としては、最近の乳児院にはいろいろな障害をもった子ども達が増えて、今まで以上に支援と解決を迫られる問題が沢山あり、経営責任云々は関係ないと考えます。

乳児院がある松本市としても市内に生活する子ども達の健やかな成長を願う立場は同じであり、共に支えあい助け合いながらやっていく必要性を強く感じているので、今後も新築への理解と協力を根気よく続けて行こうと思っています。

朗報



3月に正規職員退職に伴い、現嘱託職員の中からの希望者も含めた採用試験が行われ4月から1名正規職員に採用される事が施設長より発表がありました。団交での回答がきちんと有言実行され、嬉しく思うと共に改めて訴え続ける必要性を感じています。

以上 次号は松江(乳)を紹介する予定です。